

## 本事例の基礎データ

カテゴリ	文字入力（タイピング）に関する指導方法		
学校種	中学校	事例提供者	渋谷区立笹塚中学校
学年	全学年	教科等	朝の学級活動
単元名	文字入力技能を向上させよう		
主な ICT 機器	タブレット P C（Windows/セルラー L T Eモデル/一人1台）		
授業の概要	<p>日常的なタブレット使用と合わせてタイピング練習「朝タイピング」を行い、キーボードを使用して文章を打つこと、作成した書類を共有する方法など、情報活用能力における基本的操作を身に付ける。</p> <p>「朝タイピング」では、有名図書の一部を資料（1つの資料につき抜粋部分は2500文字程度で資料は週替わりで提示）として使用し、毎朝10分間の活動を約1か月間継続する。</p> <p>また、タイピング練習を通していくつかの本の冒頭に触れることで、本を読む意欲を高め、読書活動を更に充実させることもねらいとする。</p>		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字入力ができる（40文字程度/1分間）</li> <li>・目的に応じて適切にアプリケーションを選択・操作できる</li> <li>・ファイルやフォルダを操作できる</li> </ul>

## 本事例における教育の情報化について

【ポイント1】	<p>●一人1台の学習者用端末の活用</p> <p>学習者用端末を一人1台使用することにより、全員が順番を待つことなくタイピング練習を行うことができる。</p>
【ポイント2】	<p>●資料の工夫</p> <p>1週間を通して2500文字程度の1つの資料に取り組むということは、毎日500字程度を打ち込む必要がある。10分の朝学習の中で、「500文字入力する」という目的をもち、集中して取り組む。</p>
【ポイント3】	<p>●学習支援クラウドの活用（Teams、OneNote）</p> <p>クラウドを活用し、OneNoteに文字入力をさせた。作成した文書の進み具合はその場で確認できるため、文字入力の速度が遅い生徒には個別に支援をすることができる。また、最終的にどこまで進んだかを他者に見せることで、周囲の意欲を高めることができる。</p>

## 本単元（題材）における指導の流れ

時間 10分/回	●主な学習活動 ・ 生徒の活動	○支援・留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●導入</li> <li>・文字入力技能を向上させる必要性、「朝タイピング」の趣旨について考える。</li> <li>・日常的に使用するデジタル生活ノート（デジタル連絡・日記）を確認する。</li> <li>・文書作成ソフト Word やデジタルノート OneNote の使用方法を確認する。</li> <li>・取組方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Teams であらかじめ作成してあるクラスノートブックから該当ページを作成する方法を確認しておく。</li> </ul>
2 5 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【資料1】</li> <li>・OneNote を開き、指定された方法で資料の文字を打ち込む。</li> <li>・取組の成果から、次週は時間内に何文字打ち込むか、個人の目標を立てる。</li> <li>●【資料2】</li> <li>・OneNote で新しいページを増やして、新しい資料に取り組む。</li> <li>・取組の成果から、次週は時間内に何文字打ち込むか、個人の目標を立てる。</li> <li>●【資料3】</li> <li>・目標を達成できるよう、スピードを意識して「朝タイピング」を行う。</li> <li>・取組の成果から、次週は時間内に何文字打ち込むか、個人の目標を立てる。</li> <li>●【資料4】</li> <li>・目標を達成できるよう、スピードを意識して「朝タイピング」を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生の文字入力速度の目標は 40 文字／1 分間であることを伝える。</li> <li>○各資料を配布する際に 1 日あたりの目標を教員が伝えておくと、生徒の意欲向上につながる。</li> <li>○「朝タイピング」の趣旨を理解し、文字入力技能を高めようとしているか、生徒の意欲を確認する。</li> <li>○資料3に取り組む頃には、文字入力に慣れてくる生徒も多い。目標を達成できるよう、スピードを意識して「朝タイピング」を行うよう、声掛けを行う。</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返り</li> <li>・4週間の取組の成果を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の技能がどの程度高まったのか、目標と比較して確認させる。</li> </ul>

## 本時の流れ

段階	● 主な学習活動・児童の活動	○ 支援・留意点
導入	<p>● 端末と資料の準備</p> <p>……………【ポイント1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを起動して、使用するアプリケーションを立ち上げる。</li> </ul>	<p>○チャイム前に端末の準備などを済ませるよう、声掛けをする。</p>
速く 正確に 文字入力できるようになる		
展開  10分	<p>● 文字入力を行う</p> <p>……………【ポイント2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムと同時に始める。</li> <li>・配布された資料は1週間で打ち終わるように努力する。</li> </ul>	<p>○生徒の意欲を向上させるため、何文字程度を目標にすればよいか、伝える。</p> <p>○資料を見て、何も考えずに、入力するのではなく、内容を理解しながら文のまとまりごとに変換するようにすると、入力スピードが早くなることを伝える。</p> <p>○「朝タイピング」の趣旨を理解し、文字入力技能を高めようとしているか、生徒の意欲を確認する。</p>
まとめ	<p>● 他の生徒の進み具合を知る</p> <p>……………【ポイント3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が紹介する他者のノートも参考に自分の目標を再度設定する。</li> </ul>	<p>○端末を使用した文字入力は、単に速いだけではなく、正確さも大切である。打ち間違いや変換ミスがないか確認するように、声掛けをする。</p>

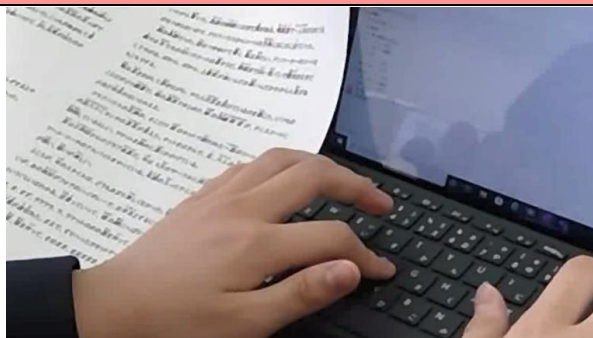
## 授業の実際

### 【ポイント1】 ●一人1台の学習者用端末の活用



一人1台の学習者用端末を使用することにより、順番を待つことなくタイピング練習を行うことができた。一部の生徒は端末の充電が不足しており、取り組めないこともあった。電池残量をあらかじめ確認しておくように指導する必要がある。

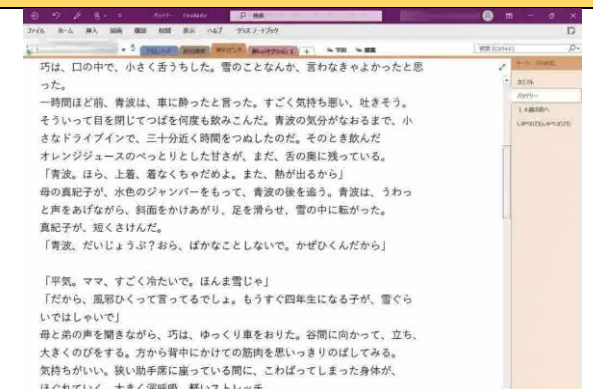
### 【ポイント2】 ●資料の工夫



推奨図書から一部（2500字程度）を抜粋して四つの資料を用意し、1週間につき一つの資料に取り組んだ。

生徒は毎日10分、朝学習の時間に500文字入力することを目標として、集中して取り組むことができた。

### 【ポイント3】 ●クラウド（Teams クラスノートブック）の活用



OneNote に文字入力をさせ、毎回提出する手間を省くことができた。

Teams クラスノートブック機能を使用することで、作成した文書や文字入力の状況を教師が速やかに確認できるようになった。どこまで進んだかを他の生徒に見せることで、周囲の意欲を高めることができた。

## 今後に向けて

- 「朝タイピング」は今まで6月にのみ実施してきたが、1年間の日常的な取組の成果を生徒自身に感じさせるために、今後は年度の終わりである3月にも実施していくよう計画する。
- これまで配布資料は推奨図書から一部抜粋してきた。今後は生徒の発達段階を考え、社会情勢に関心をもたせる機会も与えたい。新聞のコラムを使用するなど、更により資料について検討し、工夫を重ねていく。